

今年度最初の
「定期考査」
を迎えるにあたって



努力の向こう側に

- 1年生は、高校生として商業高校生として初めての考査が始まります
- 2年生は、学科の特色が反映される考査となることでしょう
- 3年生は、進路実現のために必要な「仮評定」が出る重要な考査です

考査を迎えるにあたって、

「なぜ勉強するのか?」「なぜ**努力**するのか?」「なぜ、それを求めらる機会が多いのか?」
改めて考えて欲しいのですが..

今回は、逆に「勉強をしない」「努力をしない」状況を取り上げてみます

- ☞ 例えば.. 勉強(努力)をしなかったが、たまたまいい点が取れた ← D・Eランクの人に
- ☞ 例えば.. 今持っている力だけで、ある程度の点数が取れた ← 多い傾向です!
- ☞ 例えば.. こっそり誤魔化して(カンニングなど)点を稼いだ

一見、努力(勉強)をしなくても、ある程度の結果? が出せるような気がしますが..

“たまたま”が毎回続きますか?“ある程度”以上の**本当の力**(将来に活かせる力)備わりますか?

⇒ 今後(高校から先ならなおさら)“適当な誤魔化し”は絶対に通用しません
(もちろん“ぎずる不正”なんて論外!)

自分で努力もせず、“実力(総合的な人間性)無し”のままです..

⇒ 常に「通用しないかもしれない」という**自信のなさ**がついてまわる

⇒ 常に「次はダメかも知れない」という**不安**に押しつぶされそうになる

勉強も部活も
そして
将来の仕事も
同じだと
思いませんか?

!!【実力】とは意志の弱さを乗り越え、課題の解決をしようとする【実践力】!!

1年生諸君、このことを

克己心

と言いますね?



自信と実力は、自分の弱さを乗り越えるからこそ得られる
自信と実力が求められる機会は、学校なら“考査”・“検定”、実社会なら“仕事”



社会に出れば考査がないかわりに、毎日当たり前に**実力が求められる**。

例えば、日常的に“結果が出せない”、“約束(契約)を守れない”、“挨拶が出来ない”

そんな自分を、“大人な他者”、そして“大人な自分”はどう見ますか?

(そんなの社会に出てからきちんとする!と考えている人、社会に出ていきなりきちんと出来た人は過去に一人もいません)

「努力」という下地なしに「自信」と「実力」は絶対に生まれません

さあ!みんな勉強しようぜ!